置賜広域病院企業団／公立置賜総合病院

広報おきたま病院

第21号
平成31年3月

各種指定等

救命救急センター
第二種感染症指定医療機関
エイズ治療拠点病院
地域がん診療連携拠点病院
へき地医療拠点病院
地域医療支援病院
災害拠点病院
臨床研修指定病院



薬剤師による抗がん剤調製業務

目 次

p02 DMAT活動報告
p03 診療科紹介「小児科」
p04 薬剤師の1日に密着
p05 オープンホスピタルを開催しました
p06 Dr.金城の健康レシピ
p07 採用試験情報
p08 公立置賜南陽病院改築の進捗状況
2019年ゴールデンウィークの
診療体制について

病院理念

心かよう信頼と安心の病院

運営方針

1 患者本位の医療を展開いたします。
2 高度・救急医療を提供いたします。
3 健全経営の確保に努めます。
4 人材を育成いたします。
5 地域連携の推進に努めます。
6 快適な療養環境を提供いたします。

平成30年北海道胆振東部地震での置賜DMAT活動報告

●公立置賜総合病院DMAT 整形外科医師 大樂勝之

平成30年9月6日午前3時8分、北海道胆振中東部を震源とする、最大震度7（マグニチュード6.7）の巨大地震が発生しました。北海道庁は3時50分にDMAT調整本部を設置し、14時頃、東北DMATに正式な派遣要請がありました。当院からは医師をはじめとした5名が派遣メンバーに決まり、19時に出動しました。自施設の車両で参集するよう指示があったため、宮古市からカーフェリーに乗り込み室蘭市に入りました。市内の様子は、発生から24時間が経過していることもあり、街の灯りが所々に見られ、電力復旧が始まったところのようでした。

8日早朝、DMAT活動拠点本部がある苫小牧市立病院で受付し、初日の任務はさらに東部の震源地に近いむかわ町の避難所での情報収集と決まりました。高速道路は通行可能なものの携帯電話がつながらないなど、情報伝達が困難な状況の中、なんとか避難所に移動しました。水道は止まったままでしたが、電気は復旧し飲料水や食料、薬剤等の不足もなく、医療ニーズは高くない状況と思えました。その日は自宅で動けなくなった方を訪問し腰椎圧迫骨折の疑いで救急搬送するなどの医療活動も行いました。9日は朝から、苫小牧市立病院のDMAT活動拠点本部の受付業務を担当し、他のDMAT隊のモニタリング等を行いました。そして午後にはDMATとしての活動は一段落と判断され本部解散となり帰路につきました。

北海道胆振東部地震は、震度７を北海道で初めて記録した大きな地震でしたが、土砂崩れによる犠牲が大半で地震規模の割には比較的少ない被害と言われています。しかしながら、万が一、人口が過密な札幌市で発生したなら、阪神淡路大震災や東日本大震災に匹敵する大災害になっていたかもしれません。私たちの住む置賜地方も決して人口過密地域ではありませんが、巨大地震発生時は多数の死者、傷病者が予想されています。置賜総合病院は置賜地方唯一の災害拠点病院であり、最後の砦となります。この病院で働く私たちはその覚悟をもって災害に対する知識を深め、準備しておかなければなりません。みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。



公立置賜総合病院　DMAT隊の５名



9/6	3:08	**地震発生**
	14:00	東北ＤＭＡＴへ派遣要請
	19:00	公立置賜総合病院　出発
9/7	2:00	岩手県宮古市　到着
	8:00	出発
	18:00	北海道室蘭市　到着
9/8	午前	苫小牧市立病院で活動開始
		安平町・むかわ町へ移動
9/9	午前	苫小牧市立病院で活動
	午後	**活動終了**
9/10	9:00	苫小牧　出発
	16:00	青森県八戸市　到着
9/11	1:00	公立置賜総合病院　到着

小児科

●仙　道　　大

当科では、主に開業医の先生方からご紹介いただいた、入院を必要とするような急性（細）気管支炎、急性肺炎、気管支喘息・クループなどの呼吸器疾患、急性胃腸炎などの消化器疾患、インフルエンザなどの感染症、けいれん性疾患、異物誤飲などの救急疾患、新生児期疾患などを診療しています。

また、血液・腫瘍、神経、内分泌・代謝、循環器、腎臓、アレルギー疾患などの慢性疾患を非常勤専門医の力も借りて診療しています。

地域の子どもたちの健康を守れるよう、最適で標準的な医療を提供してまいります。また、小児科医は子どもの病気を治すだけではなく、子どもの心も癒すこと、子どもの病気を予防すること、ご家族の不安を解消すること、子どもを取り巻く社会をよくしていくことも大事な任務です。関係各所と協力しながらその責務を果たしてまいります。

外来受診時にはかかりつけ医から紹介状を記入いただき、お持ちいただくことをお勧めしております。



外来診療体制

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
仙道　大 豊田健太郎	古山　政幸 豊田健太郎	古山　政幸 仙道　大	仙道　大 豊田健太郎	仙道　大 古山　政幸

診療部長(小児科)
(兼)小児科統括科長
仙道（せんどう）　大（だい）



趣味の自転車・ランニングで周辺を走らせていただいていますが、このように景色がきれいなすばらしい土地で働けることに幸せを感じています。地域の子どもたちの笑顔を守れるよう精一杯努めてまいります。

科長
豊田健太郎（とよだけんたろう）



患者さんやそのご家族に寄り添いながら、地域医療の一助となるべく頑張っていきたいと思います。

科長
古山（ふるやま）　政幸（まさゆき）



学校検尿で指摘された検尿異常や腎炎・腎症、ネフローゼなど、小児の腎臓に関する疾患につきましては、いつでもご相談下さい。

薬剤師の1日に密着！

今回は病院で働く医療職のひとつ「薬剤師」を紹介します。
薬局と病院では同じ薬剤師でも仕事内容が異なります。
では実際にどんな業務をしているのでしょうか。
今回はある1日に密着してみました。



薬剤部　薬剤師
須藤（すとう） 迪依（ゆい）（平成29年入職）
病院を受診するときは必ず
「お薬手帳」を持ってきてくださいね。

おはようございます!



出勤

職場までは車で通勤しています。出勤後はカルテなどを参考に入院患者さんの情報確認を行います。

朝のミーティング



当直薬剤師からの申し送り事項や1日のスケジュールなど、薬剤部スタッフ全員で情報共有をします。

抗がん剤調製





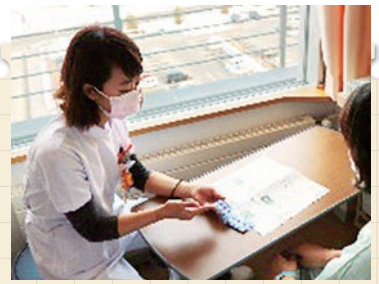
注射薬個人セット

調剤



各部署に分かれて仕事を始めます。この日は注射薬個人セットの担当です。患者さんに投与するお薬を個人ごとにカートにセットします。これは注射の間違いを防止し、安全に薬剤提供を行うための大切な仕事です。他には化学療法で使用する薬の準備や内服薬の準備があります。

服薬指導



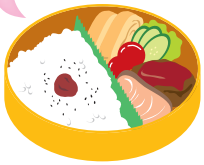
患者さんの状態に合わせて安全にお薬を服用していただくために、薬剤師が患者さんに対し、薬の服用方法などについて説明します。患者さんと直接お話しさせていただくことで、お薬に対する疑問や不安を解消するお手伝いをしています。

入院時面談



当院では薬剤師が入院患者さんの持参薬の確認を行い、鑑別報告書を診療録に記載しています。今何を飲んでいるのかを確認するためにも、お薬手帳の持参をお願いします。

～休憩～
いただきます！



★当院には様々な資格を持った薬剤師が勤務しています

- がん専門薬剤師
- 感染専門薬剤師
- 糖尿病療養指導士
- 吸入療法認定薬剤師
- DMAT（災害派遣医療チーム）
- スポーツファーマシスト
  （ドーピングに関する知識を有した薬剤師）
- NST専門療法士
  （患者さんの栄養管理に携わる薬剤師）



カンファレンス



この日は木曜日。毎週木曜日は「緩和ケア」のカンファレンスに参加します。医師、看護師、リハビリ、管理栄養士など多職種と情報共有を行っています。

勤務終了

業務の振り返りと報告を行って、業務終了です。



お疲れ様でした！

置賜管内の高校生を対象に
「オープンホスピタル」を開催しました！

平成30年7月28日（土）、11月17日（土）に公立置賜総合病院において、置賜管内の高校生を対象とした病院内部の見学会「オープンホスピタル」を開催しました。この「オープンホスピタル」は、公立置賜総合病院をより知ってもらい、将来の置賜地域の医療を支える人材を確保することを目的に開催しているものです。6年目を迎えた今年度も多くの高校生の皆さんにご参加いただきました。

当日は、班ごとに8部門を回り、ギプス巻きや介助体験、医療装置の見学をしました。また、見学終了後は、各部門スタッフと意見交換会を行い、スタッフに積極的に質問したり、真剣な表情で話を聞いている高校生の皆さんの姿勢が非常に印象的でした。職種に対する理解をより深めてもらうことが出来たのではないでしょうか。アンケートからは、「病院や職員の雰囲気を知ることが出来てよかった」「進路選択の幅が広がった」「普段目にすることが出来ない場所を見学し、貴重な体験ができた」などのご意見をいただきました。高校生の皆さん、ご参加いただき大変ありがとうございました。

来年度も7月と11月の計2回、開催を予定しておりますので、興味のある高校生の皆さんのご参加をお待ちしています。

看護部



点滴の準備

診療部



ギプス巻き体験

臨床検査部



鏡検学習

意見交換会



【参加者数】

	第1回	第2回	合計
1年生		26	26
2年生		17	17
3年生	29		29
合計	29	43	72



当日資料

【当日タイムスケジュール】

8時30分	**開会、オリエンテーション**	
9時00分	**見学会**（各ブース17分程度、5班に分かれて見学）	
	①診療部	・ギプス巻き体験
	②看護部	・点滴準備、ゼリー食介助体験、血圧測定等
	③薬剤部	・無菌室見学、薬のピッキング体験等
	④放射線部	・CTやMRI装置等の紹介
	⑤臨床検査部	・鏡検学習、超音波検査の見学等
	⑥リハビリテーション部	・理学療法、作業療法、言語聴覚療法の説明等
	⑦栄養管理室	・栄養ミニ講座等
	⑧臨床工学室	・医療機器の取り付け体験等
11時50分	**意見交換会**（各部門スタッフ）	
13時00分	**閉会**	

Dr. 金城の
健康レシピ

●～家森幸男（やもりゆきお）先生と「減塩、長生きごはん」～

家森幸男先生（京都大学名誉教授、病理学）は若い時に、脳卒中発症ラットを作成し、そして減塩食により脳卒中が予防できることを発表して、日本脳卒中学会の最高の賞である草野賞を受賞しています。

家森先生は、ラットの実験でできたことがヒトにもあてはまるのではないかとの仮説を立てて、世界中の長寿地域をまわり調査しました。その結果、塩分摂取の多いところは短命、少ないところは長命であることがわかりました（長寿食「世界探検記」）。なお、家森先生は「カスピ海ヨーグルト」を日本に紹介した人です。

さらに、「遺伝子が喜ぶ長生きごはん」では昔ながらの日本の食事のよさを紹介しており、その中で紹介された、「まごは（わ）やさしい」（図）という標語は、健康のために積極的に食べてもらいたい日本の伝統食の食材の頭文字を合わせたものです。「まめ、ごま、わかめ、やさい、さかな、しいたけ、いも」です。これらの食材の特徴は、さかな以外では食物繊維が豊富なことです。私も常にこれら食材を使った料理を心がけています。

今回のレシピも簡単です。塩分を控え、食物繊維をとり、砂糖を使わずにカロリーを控え、カラフルにおいしく作っています。ぜひお試しください。



＜参考文献＞
家森幸男：長寿食「世界探検記」（ちくま文庫　2007年）
家森幸男：遺伝子が喜ぶ長生きごはん（朝日文庫　2010年）

脳神経外科　金城　利彦

☆切り干し大根の煮物



100gあたり
エネルギー　38kcal
食物繊維　2,7g
塩分　0.60g

【材料】
切り干し大根…30g
きざみ昆布…10g
こうや豆腐…10g
まいたけ…50g
にんじん…20g
めんつゆ…小さじ4(20cc)
水…600cc

切り干し大根はそれだけでも十分に甘いです。
切り干し大根、昆布は食物繊維が豊富です。きざみ昆布は塩分が多いので注意しましょう（100gあたり食塩9.7g）。
こうや豆腐は95%減塩のものを使いました。



【作り方】
なべに水600cc、めんつゆ小さじ4を加え、切り干し大根、きざみ昆布、こうや豆腐、まいたけ、せんぎりにしたにんじんを入れ、水分が大部分なくなるまで（約20-30分間）煮込む。

☆砂糖なし、焼きいもで「りんごウムニー」



100gあたり
エネルギー　149kcal
食物繊維　2.3g

いものことを沖縄方言で「ウムー」といいます。ウムニーとは芋（さつまいも）煮のことで、沖縄で昔からよく食べられています。普通は砂糖を入れますが、今回のレシピの方がよりヘルシーです。焼きいもはオーブンで作りました。予熱なし、160℃、80分間です。



【材料（4人分）】
りんご（ふじ）…2個（600g:加熱後300g）
さつまいも（シルクスイート）…1本（300g:加熱後250g）
もち米…1合（150g:加熱後300g）

【作り方】
1. りんごの皮をむき、約1cm幅のいちょう切りにしてフライパンで約20-25分間加熱する（水分がなくなるまで）
2. さつまいもをオーブンで加熱（予熱なし、160℃で80分間）して焼きいもを作り、皮をむく。
3. もち米を炊く。
4. 1,2,3を混ぜ合わせる。

職員採用試験のご案内

【正職員】

◆ 募集職種

職　種	採用予定数	受　験　資　格
①助　産　師 ②看　護　師	3名程度 20名程度	1975年4月2日以降に生まれた者で、当該職種の免許を有する者、若しくは2020年6月30日までに当該免許を取得する見込みの者
③薬　剤　師 ④臨床検査技師	若干名 若干名	1985年4月2日以降に生まれた者で、当該職種の免許を有する者、若しくは2020年6月30日までに当該免許を取得する見込みの者

◆ **試験日・会場** ……2019年5月26日(日)・公立置賜総合病院
◆ **受付期間** ……2019年3月18日(月)～2019年5月15日(水)
◆ **申込方法** …… 当企業団又は近隣自治体で配布している試験案内をご確認ください。
◆ **お問合せ** …… 総務企画課職員係(TEL 0238-46-5000)

【臨時職員】



◆ 募集職種

・看護補助者
・夜勤専従看護補助者
・調理師(または調理員)
・医療クラーク(医師業務の事務補助)
・事務補助員(障害者枠)

◆ 勤務形態

週35時間以内(週休二日制)

◆ 雇用期間

採用日から2020年3月31日まで

◆ 申し込み

応募を希望する方は、ハローワークからお申し込みいただくか、当院ホームページをご覧ください。

◆ **お問合せ**:総務企画課職員係(TEL 0238-46-5000)

公立置賜南陽病院改築の進捗状況について

昨年の6月に工事開始、12月には躯体上棟を迎え、現在は竣工引渡しに向けて、電気・機械設備工事、そして順次内外装工事を進めている状況です。

今冬は、大変有難い事に降雪量が例年に比べて少なく、安全面でも品質面でも順調に工事を進める事ができております。

相変わらず全国的な作業員・資機材の不足が問題視されていますが、まずは手戻りや手直しの発生がないように注意深く進めております。

尚、竣工引渡し後は、既存病院の解体工事およびそれに伴う駐車場整備などが続く事になります。

何かとご不便をお掛けする事もあるかと存じますが、引き続き皆様の変わらぬご理解・ご協力の程宜しくお願い申し上げます。（※進捗率 2月末75%）


屋上設備状況


足場解体状況

2019年ゴールデンウィーク期間（4/27~5/6）の診療体制について

公立置賜総合病院では来る4/27（土）～5/6（月）の10連休期間中のうち

4/30（火）及び5/2（木）を開院日とします。

その他8日間については通常の土日・祝日と同様に救急外来のみとなります。
地域住民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

●10連休期間中は門前薬局が営業しています

公立置賜総合病院周辺の3薬局（アイン薬局、アップル薬局、すみれ調剤薬局）のいずれかが営業しておりますので、御利用ください。

それぞれの薬局の具体的な営業日については未定ですが、決まり次第、当院ＨＰ等でお知らせさせていただきます。



発　行　置賜広域病院企業団／公立置賜総合病院
編　集　広報委員会（事務局：総務企画課 経営企画担当）☎0238-46-5000
ホームページアドレス
http://www.okitama-hp.or.jp/